

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成30年4月～6月期実績、平成30年7月～9月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

2期ぶりにすべての指標が好転































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△4.5、採算D Iが△16.3、資金繰りD Iが△7.4となり、対前期比でそれぞれ16.5ポイント、2.0ポイント、2.9ポイント改善し、すべての指標が好転した。特に、売上D Iが2ケタのプラスとなった。

次期は、売上額D I、資金繰りD Iが悪化に転じるが、マイナスは小幅にとどまる見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

・売上額D I	△4.5	（対前期比	16.5	好転）	次期予想	△10.1	（対前期比	△5.6	悪化）
・採算D I	△16.3	（対前期比	2.0	好転）	次期予想	△17.4	（対前期比	△1.1	悪化）
・資金繰りD I	△7.4	（対前期比	2.9	好転）	次期予想	△3.9	（対前期比	3.5	上昇）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
29年7月～9月		△22.5			△22.6			△11.4	
29年10月～12月		△17.7			△16.6			△8.7	
30年1月～3月		△21.0			△18.3			△10.3	
30年4月～6月		△4.5			△16.3			△7.4	
30年7月～9月 （見通し）		△10.1			△17.4			△3.9	

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上額D Iが大幅な改善

製造業では、売上額D Iが11.8、資金繰りD Iが△5.9となり、対前期比でそれぞれ36.7ポイント、6.3ポイント改善し、好転した。採算D Iは△17.6となり、△5.1ポイント減少し悪化に転じたが、マイナスは小幅にとどまった。
















また、今期は、売上額D Iは2ケタのプラスに転じ、大幅な改善が見られ、2期ぶりに好転した。

次期は、売上額D I、採算D Iが、悪化、低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 11.8 (対前期比 36.7 好転) 次期予想 8.8 (対前期比 △3.0 悪化)
- ・採算D I △17.6 (対前期比 △5.1 悪化) 次期予想 △20.6 (対前期比 △3.0 低下)
- ・資金繰りD I △5.9 (対前期比 6.3 好転) 次期予想 5.9 (対前期比 11.8 上昇)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
	天気	値	変化	天気	値	変化	天気	値	変化
29年7月～9月		△11.4	↓		△29.4	↓		△8.8	↓
29年10月～12月		△8.8	↑		△18.2	↑		△3.2	↑
30年1月～3月		△24.9	↓		△12.5	↑		△12.2	↓
30年4月～6月		11.8	↑		△17.6	↓		△5.9	↑
30年7月～9月 (見通し)		8.8	↓		△20.6	↓		5.9	↑

(2) 建設業

建設業はすべての指標が好転・上昇

建設業では、売上額D Iが△4.1、採算D Iが△12.0、資金繰りD Iが4.2となり、対前期比でそれぞれ20.9ポイント、8.0ポイント、16.2ポイント改善し、すべての指標が好転、上昇した。特に売上額D I、資金繰りD Iは、2ケタのプラスになるなど大幅な好転、上昇となった。





















売上額D Iは、前期まで2期連続の横這いで下げ止まり感があったが、今期は、好転にした結果となった。

次期は、売上額D Iが悪化に転じる見通しであるが、採算D I、資金繰りD Iは、3期連続で上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

・売上額D I	△4.1 (対前期比	20.9 好転)	次期予想	△8.0 (対前期比	△3.9 悪化)
・採算D I	△12.0 (対前期比	8.0 上昇)	次期予想	△4.0 (対前期比	8.0 上昇)
・資金繰りD I	4.2 (対前期比	16.2 上昇)	次期予想	8.0 (対前期比	3.8 上昇)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
29年7月～9月		△25.0			△29.2	
29年10月～12月		△25.0			△25.0	
30年1月～3月		△25.0			△20.0	
30年4月～6月		△4.1			△12.0	
30年7月～9月 (見通し)		△8.0			△4.0	

(3) 小売業

小売業は売上額D I が3期連続改善

小売業では、売上額D Iが△18.7、採算D Iは△23.0、資金繰りD Iは△10.7となり、対前期比でそれぞれ7.4ポイント、4.0ポイント、4.2ポイント改善し、すべての指標が好転した。































特に、売上D Iは、3期連続の改善により、上昇しているが、採算D I、資金繰りD Iは、4半期ごとに好転、悪化を繰り返している。

次期は、売上D Iは引き続き上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △18.7 (対前期比 7.4 上昇) 次期予想 △16.7 (対前期比 2.0 上昇)
- ・採算D I △23.0 (対前期比 4.0 好転) 次期予想 △29.1 (対前期比 △6.1 悪化)
- ・資金繰りD I △10.7 (対前期比 4.2 好転) 次期予想 △12.5 (対前期比 △1.8 悪化)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年7月～9月		△40.8 		△32.6 		△20.8 
29年10月～12月		△35.5 		△21.3 		△14.6 
30年1月～3月		△26.1 		△27.0 		△14.9 
30年4月～6月		△18.7 		△23.0 		△10.7 
30年7月～9月 (見通し)		△16.7 		△29.1 		△12.5 

(4) サービス業

サービス業の売上D I は好転と悪化の繰返し































サービス業では、売上額D Iが△2.8、採算D Iが△12.6、対前期比でそれぞれ11.5ポイント、1.7ポイント改善され、特に売上額D Iは、2ケタのプラスになるなど大幅な数値の改善が見られた。資金繰りは、△9.9となり、4.1ポイント減少し、2期連続で低下した。

今期大幅な改善が見られ好転した売上額D Iが、次期は、悪化に転じる見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △2.8 (対前期比 11.5 好転) 次期予想 △15.3 (対前期比 △12.5 悪化)
- ・採算D I △12.6 (対前期比 1.7 好転) 次期予想 △12.6 (対前期比 0.0 横這)
- ・資金繰りD I △9.9 (対前期比 △4.1 低下) 次期予想 △6.9 (対前期比 3.0 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年7月～9月		△14.3 		△10.0 		△4.4 
29年10月～12月		△7.2 		△10.0 		△4.3 
30年1月～3月		△14.3 		△14.3 		△5.8 
30年4月～6月		△2.8 		△12.6 		△9.9 
30年7月～9月 (見通し)		△15.3 		△12.6 		△6.9 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	8.6%	生産設備、車両運搬具 OA機器	22.9%	工場建物、生産設備 車両運搬具、付帯施設 福利厚生施設、その他
建設業	8.0%	車両運搬具、その他	4.0%	車両運搬具
小売業	6.2%	販売設備、車両運搬具 付帯施設、その他	6.2%	店舗、販売設備、 付帯施設、その他
サービス業	6.9%	車両運搬具、OA機器、 その他	12.5%	土地、建物、サービス 車両運搬具、付帯施設、 OA機器、その他

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	36.4%
	2位	生産設備の不足・老朽化	18.2%
	3位	従業員の確保難 原材料価格の上昇	15.2%
建設業	1位	大企業の進出による競争の激化 下請単価の上昇	17.6%
	3位	請負単価の低下、上昇難 官公需要の停滞	11.8%
小売業	1位	消費者ニーズの変化	20.9%
	2位	販売単価の低下、上昇難	16.3%
	3位	需要の停滞	14.0%
サービス業	1位	需要の停滞	24.6%
	2位	材料等仕入単価の上昇	19.7%
	3位	利用者ニーズの変化	13.1%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成30年4月から6月の第1四半期を対象とし、調査時点は平成30年6月1日。


(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業48企業、サービス業72企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成30年7月1日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041